

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年6月30日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年6月14日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リール・カトリック大学(日本語名) Université Catholique de Lille(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/ 英語・フランス語
留学期間	2024年8月～2025年6月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: FGES, IESEG <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 40,000 人
創立年	1875 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 163 円)	B 日本円	備考
授業料		円	交換留学のためなし
宿舍費	5,313	円	1ヶ月あたり€506
食費	1,200	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	130.89	円	1ヶ月あたり€10.99+SIMカード代
現地交通費	200	円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100	円	美術館の入場料など
旅費(留学中)		300,000 円	他都市や周辺国への旅行費用
被服費	200	円	
医療費		円	
保険費	59	113,360 円	形態: 住宅保険(SMENO)、大学指定の海外旅行保険
渡航旅費		260,000 円	往復航空券代
ビザ申請費	50	23,850 円	
雑費	150	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	7402.89 ユーロ (=約 1,206,671 円)	697,210 円	
総計(A+B) ※円		1,903,881 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジに登録し、渡航先の危険情報やストライキなどに関する情報が適宜メールに来るように設定をしていました。またネットニュースなどを確認し、危険な地域にはいかないようにしていました。スリ対策としてスマホのストラップを利用したり、チャックのある鞆を利用していました。リールは基本的な安全対策をしていれば問題はありませんでしたが、他の旅行先ではパスポートなどを含む貴重品の管理には十分気をつけた方がいいと個人的に感じました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットに関してはFree mobileのプランで10.99€/月で160GB分使用することができたので、家の中でも外でも基本的に問題なく使用することができました。寮や大学にはWi-Fiもあるためパソコンなどを使用する際にはそれらを利用していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

CAFの申請の際にフランスの銀行口座の番号が必要だったため、BNP Paribasで口座を開きました。基本的には日本から持参した現金とクレジットカードを複数枚使い分けて生活をしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本的に必要なものは現地で調達できるので問題はありませんが、普段使っている薬やコンタクトなどを多めに持っていくと良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
58 ECTS 単位		<input checked="" type="checkbox"/> -(未定)単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 授業によっては履修人数に制限があるものもありました。		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business Communication Skills		ビジネスコミュニケーションスキル
科目設置学部・研究科	FGES	
履修期間	Fall semester	
単位数	3 ECTS	
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Davos	
授業内容	経済や経営に関する英語力とライティングスキルを向上させるための授業です。具体的には、景気、税制、政府の役割などについてディスカッションやロールプレイなどを行いながら授業が進められました。	
試験・課題等	1) 中間試験 グラフの読み取りや与えられたテーマに関するライティング 2) 期末試験 複数のテーマから好きなものを 1 つ選び、それに関して資料の読み取りとライティング	
感想を自由記入	この授業は教授がただ講義を行うというよりも、自分たちでプレゼンテーションなどのアイデアを考えてフィードバックを貰いながら授業を進めるという形式でした。ディベートやディスカッションが頻繁にあり、現地生や他の留学生と関わる機会が多くありました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Plan	ビジネスプラン
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Fall semester
単位数	4 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Nora Bouibeb
授業内容	この授業では、ビジネスプランの構成要素や重要性について学ぶことができます。また、ビジネスプランの作成によって、自分のビジネスアイデアを形にするための知識や実践力を養うことができます。
試験・課題等	1)ビジネスプランの作成 4・5人程度のグループを組み、会社を立ち上げることを仮定してビジネスプランを作成するというものでした。市場分析、財務計画やリスク分析などを行い25ページほどの文書を作成しました。そして、それを最後の授業で発表する形式でした。 2)期末試験 ビジネスプランを作成する上で意識した点や今後それをどう生かしていくかなどについてそれぞれ250-300 word程度のライティングをするという試験でした。
感想を自由記入	自分たちで一からビジネスアイデアを考え、それを文書に起こす必要があり、かなり難易度が高い授業でした。しかし、実際に会社を立ち上げる際や新規事業を立ち上げる際に求められるスキルについて学ぶことができ、自分のスキルアップにつながりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Corporate Social Responsibility		企業の社会的責任
科目設置学部・研究科	FGES	
履修期間	Fall semester	
単位数	5 ECTS	
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式+プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Paul Devos	
授業内容	企業の社会的責任について、倫理的、社会的、環境的な側面から学ぶことができます。理論的な基盤に加え、ケーススタディや実践的なアプローチを通じて、CSR 戦略の実施方法についても理解を深めることができました。また、ステークホルダーとの関係構築や CSR 報告、持続可能な開発目標(SDGs)との連携についても学びます。	
試験・課題等	1)中間試験 授業資料と追加の教材をベースとした、選択式の問題 2)プレゼンテーション 選んだ企業の CSR 活動に関して 15 分程度のチームプレゼンテーション 3)期末試験 授業内容に関する選択式問題と記述式問題	
感想を自由記入	企業の社会的責任について、実際の企業の取り組みや ISO の定める国際規格にも触れながら授業が進められたため、学びが深まりました。授業資料や追加の教材などで触れる文献の数が多く大変でしたが、読解力が身に付く良い機会になったと考えています。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Development Strategies	国際開発戦略
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Fall semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Eric Ollivier
授業内容	この授業では、戦略的な国際開発に必要なリソースの特定や多様なステークホルダーの活用方法を学び、国際市場への効果的なアプローチを構築する方法について学びました。また、多国籍な環境でコミュニケーションをとる際に求められるソフトスキルなどについて学ぶことができます。
試験・課題等	1)中間試験・期末試験 授業内容に関して、選択式の問題 2)グループプロジェクト 与えられた課題に対して、どのような戦略を用いるべきかについてチームでビデオを作成
感想を自由記入	この授業を通して、国際開発戦略について大きな枠組みから導入までを詳しく学ぶことができました。現地学生の比率が高く、私のグループも私以外は全員フランス人のメンバーで構成されていました。グループでケーススタディやディスカッションをする機会が多く設けられており、チームメンバーと密に繋がることができました。また、教授と学生が積極的にコミュニケーションをとりながら授業を進める形式だったので、楽しみながら授業に取り組むことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Japan: Work and Gender	日本における仕事とジェンダー
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Fall semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Sachiko Scott
授業内容	日本について、働き方やジェンダー参加などの視点から学ぶことができます。日本のビジネス文化や社会の特徴的な慣習について理解を深めるとともに、現在の社会的課題や変化についてもビデオを試聴したりしながら授業が進められます。
試験・課題等	1)プレゼンテーション 与えられたテーマに関して、チームまたは個人で15分程度のプレゼン
感想を自由記入	働き方やジェンダーに関する意識に関して、日本とフランスを含めた他の国と比較しながら学ぶことができます。教授が学生に質問をしながら授業が進められるため、現地の学生が日本の働き方についてどのように考えているかについて新しい視点からの意見を聞くことができ、有意義な授業でした。また、日本人学生として意見を求められることも多くあったため、クラスに対する貢献が多くできた授業であったと考えています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French	フランス語
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Fall semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+アクティビティ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Marie Loridan
授業内容	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなどの言語スキルを総合的に学ぶことができます。ペアやグループなどのアクティビティが多く設けられており、実践的なスキルを身につけることができました。
試験・課題等	1)中間試験 文法を中心とした記述式の問題 2)期末試験 授業で学習した単語や文法に加えて、短いライティング問題
感想を自由記入	基礎的なフランス語の文法などについて学ぶことができます。授業は基本的にはフランス語のみで行われますが、適宜英語を使って全員が理解できているかを確認しながら授業が進みます。日本で受講していた授業と比較すると、ミニゲームなど楽しみながら学ぶことを意識した時間が多く設けられている印象でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global Business Environment	国際的な経営環境
科目設置学部・研究科	IESEG
履修期間	Fall semester
単位数	6 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が1~2回
担当教授	Walid Belazreg
授業内容	この授業は4つのセクションに分かれていて、国際的なビジネス環境における企業戦略や人事管理など幅広いことについて学ぶことができます。また、問題解決型学習の手法を利用して、プレゼンテーションなどを行いながら景気循環や経済成長の理論について学ぶ機会があります。
試験・課題等	1)期末試験 授業内容に関する選択問題・記述式問題とニュース記事についてのライティング 2)レポート・プレゼンテーション セクションごとに、与えられたテーマから一つを選び、プレゼンテーションを行います。また、それに関してレポートをまとめます。最後のセッションでは、毎授業ごとに1グループ20分程度でプレゼンテーションを行った上で、教授からの質問に答える必要がありました。
感想を自由記入	この授業では、国際的な環境でビジネスを行う上で考えなくてはいけない多くの理論について学ぶことができ、自分の知識を養う上でとても役に立ちました。しかしその一方で、私が留学中履修した科目の中でもかなり負担が多い科目でした。セクションごとのプレゼンテーションやレポート作成に加え、授業資料の数も多く期末試験に向けての勉強にも多くの時間を費やしました。また、最後のセッションでは毎回の授業でプレゼンテーションを行う必要があったため、人前での発表が得意ではない人にはお勧めできません。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Conflict Management		コンフリクトマネジメント
科目設置学部・研究科	FGES	
履修期間	Spring semester	
単位数	3 ECTS	
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式+アクティビティ(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Karen Witzleben	
授業内容	この授業では、対立の種類や発生メカニズムを理解し、それを解決するためのスキルについて学ぶことができます。対立が起こった際に生じる自分の反応や感情を分析し、さまざまな状況に対応できる応用力についても学習できます。	
試験・課題等	1)期末試験 ペアで想定されたケースに関して、授業で学んだステップに沿って話し合いを行う実践形式のテストでした。	
感想を自由記入	この授業を通して、組織内で起こりうる対立に対して目をそらすのではなく、向き合うことによってポジティブな結果を生むことができることがわかりました。授業で学習したことに関してペアやグループでケーススタディを行うことで理解が深まりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Digital Marketing	デジタルマーケティング
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Spring semester
単位数	4 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に240分が1回
担当教授	Fatma Guneri, Monica Scarano
授業内容	この授業では、伝統的なマーケティング手法とデジタルマーケティングを統合し、企業と市場との関係を戦略的に管理する方法について学ぶことができます。また、最新のデジタルトレンドにも焦点が当てられています。
試験・課題等	1)期末試験 授業内容に関する選択式の問題 2)グループワーク 実際の企業のデジタルマーケティングに関する提案を行うというものでした。また、その提案をベースとして自分達でビデオを作成し、編集をした上で5-10ページほどのドキュメントを作成しました。
感想を自由記入	この授業は講義形式120分とグループワークメインの講義が120分という構成になっており、後半はある課題に対してグループで取り組むというものでした。グループワークの時間は、チームメンバーと互いのアイデアを共有しながらスライドを作成するなど有意義な時間でしたが、前半の講義が単調であり面白くありませんでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Economics	国際経済
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Spring semester
単位数	5 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Veronique Flambard
授業内容	この授業では、経済学に関する基本的な理論やツールについて学ぶことができます。
試験・課題等	1)中間試験 授業内容に関する選択問題 2)期末試験 授業内容に関する記述問題 3)プレゼンテーション 与えられたテーマから一つ選び、グループで発表
感想を自由記入	この授業は完全に講義形式の授業とチュートリアル形式の授業が交互に行われます。前者に関しては大教室で経済学の基本的な知識について学びますが、後者に関してはより少ない人数で実際のグラフなどを参考にしながら問題を解くための応用力を身につけることができます。チュートリアルは複数の時間帯でクラスが開講されているので、自分で好きな時間帯の授業を学期始めに選ぶことができます。しかし、私が最初に受けていたクラスでは、学生の希望で使用言語がフランス語に変えられたため、留学生が多い英語で開講されるクラスへ移動する必要がありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Risk management	リスクマネジメント
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Spring semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+グループワーク (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Sancelot
授業内容	この授業では、企業を取り巻く様々なリスクの識別や評価を行い、それに対してどのように適切な対策を立てることができるかについて学ぶことができます。従来のリスクのみでなく、ブロックチェーンなど最近話題になっている技術についても幅広く学ぶことができます。
試験・課題等	1)中間試験 授業で学習したリスクマネジメントの概念を取り入れて、実際の企業がフランスでビジネスを行う上でのリスク分析を行う。スライドを作成した上で自分の声を吹き込み、提出する。 2)期末試験 ニュース記事を読み、授業で学習したことや自分の考えについて Writing
感想を自由記入	元々リスクマネジメントに関心があったので、この授業を受講するのを楽しみにしていました。授業ではIOSなどのガイドラインを参考にしながら、幅広い知識を身につけることができました。教授の人柄も良く、授業もフランクな感じで進める点が良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Theater	シアター
科目設置学部・研究科	FGES
履修期間	Spring semester
単位数	2 ECTS
本学での単位認定状況	-(未定)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Pereira Guillaume
授業内容	この授業では、演劇を通して自分を見つめ直すことができます。また、ミニゲームなどを通して、体の緊張を解く方法を身につけることができます。
試験・課題等	なし(普段の授業をベースとした評価)
感想を自由記入	この授業では即興演劇を通して、人前で発表するスキルを磨くことができます。履修している人数も少なく、教授と密にコミュニケーションをとりながら、授業が進められます。日本では受講したことのないタイプの授業だったため、新鮮な雰囲気でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
FRENCH AS FOREIGN LANGUAGE	フランス語
科目設置学部・研究科	IÉSEG
履修期間	Spring semester
単位数	2 ECTS
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Anne Chounavelle
授業内容	この授業では、フランス語の基礎的なスキルについて学ぶことができます。
試験・課題等	1)中間試験 文法問題と記述問題 2)期末試験 授業で学習したことに関連した文法問題や文章問題 3)口頭試験 2回程度テーマに沿ったプレゼンテーションを行います。
感想を自由記入	履修している人数が少なく、学生のレベルに合わせた授業が行われます。ペアやグループで話す機会も多く、リスニング能力やスピーキング能力を身につけることができます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
HOW TO PRONOUNCE FRENCH	フランス語の発音方法
科目設置学部・研究科	IÉSEG
履修期間	Spring semester
単位数	1 ECTS
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Marie Ragons
授業内容	この授業では、フランス語の音声や発音について学ぶことができます。発音練習、リスニングやロールプレイを行うことによって、日常生活で使うフランス語を身につけることができる授業構成になっています。
試験 課題等	1)リスニングテスト 選択式問題 2)中間試験 授業で扱った単語や文法についての記述式問題 3)インタビュー フランス人の学生とインタビューをし、その様子をビデオで撮影する 4)期末試験 ロールプレイ形式で、日常のシチュエーションに合わせた会話を行う
感想を自由記入	1 クラス 15 人程度の授業で、ペアやグループでアクティビティを行いながら、フランス語の発音を身につけることができます。和気藹々とした雰囲気を楽しみながら授業に取り組むことができます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTERNATIONAL FINANCE	国際金融
科目設置学部・研究科	IESEG
履修期間	Spring semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Hamid Babaei
授業内容	この授業では国際金融の知識について学ぶことができ、グローバルな環境で外国為替証拠金取引を適切に扱うスキルを養うことができます。FX市場や為替リスクを管理する方法など、具体的な問題を解くことで実践力を磨くことができます。
試験・課題等	1)小テスト 計算問題や記述問題(3回) 2)期末試験 授業で学習したことに関する記述問題 3)グループプレゼンテーション 与えられたテーマに関して、グループで発表 その考えに至るまでの計算や理論についてレポートにまとめます。
感想を自由記入	英語でファイナンスについて学習するのは初めてだったため、普段の授業や小テストを受ける際に理解に苦しむこともありあした。しかし、予習や復習に時間をかけることによって、理解が深まる良いきっかけになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTERNATIONAL HRM	国際人事管理
科目設置学部・研究科	IESEG
履修期間	Spring semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Ines Aissi
授業内容	この授業では、多国籍企業が従業員を管理し、国際的な業務を運営する方法について学習することができます。スタッフの配置や業務評価に関して、文化的な違いなどに言及しながら授業が進められます。
試験・課題等	1)期末試験 授業内容に関連した内容で選択式問題と記述問題 2)グループワーク 2回程度のプレゼンテーション
感想を自由記入	この授業ではグループで与えられた課題に取り組む時間が多く設けられています。また、擬似インタビューを行うことで、採用する上で重視する点について学べるなど、就活にも役立つ知識を得ることができました。教授と学生の距離が近く、疑問に思ったことも質問しやすい環境が整っていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTERNATIONAL SUPPLY CHAIN MANAGEMNT AND LOGISTICS	国際サプライチェーン管理および物流
科目設置学部・研究科	IÉSEG
履修期間	Spring semester
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	(未定) 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+グループプロジェクト
授業時間数	1週間に170分が1回
担当教授	Verena Ehrler
授業内容	この授業では、サプライチェーンの設計や最適化について学習することができます。また、デジタル社会におけるサプライチェーンの変化や環境へのインパクトについても取り上げられます。
試験・課題等	1)期末試験 授業内容に関して記述式問題とケース問題→すごく難しいです 2)グループワーク 自分たちで会社を一つ選び、授業で与えられたテーマに関して毎回スライドを作ります。そしてそれを発表するのに加え、最後の授業ではポスターセッションが行われます。 3)グループプレゼンテーション トピックを一つ選び、それに関してグループで発表
感想を自由記入	毎週新しいトピックが出され、それに関してリサーチなどをしてスライドを作る必要があります。授業で取り扱うテーマが多く、予習や復習が欠かせませんが、サプライチェーンの構築をする上で必要な事項について学ぶことができ、とても満足しています。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	大学入学
	8月～9月	IELTS 受験
	10月～12月	交換留学出願と面接
留学開始年	1月～3月	奨学金書類提出と面接
	4月～7月	航空券購入・ビザ取得・滞在先の確保など
	8月～9月	渡航・授業開始
	10月～12月	期末試験・期末試験
留学/帰国年	1月～3月	授業・中間試験
	4月～7月	期末試験・帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先としてリール・カトリック大学を選んだ理由は、英語で受講できる科目が豊富で、留学生の数が多く異文化に触れる機会が多くあると考えたからです。また、自分の興味のある分野の授業が多く開講されていたため、自分の専門性を高めることができるのではないかと考えました。授業では、現地生や他の留学生とグループワークを通して積極的に交流することができ、異なる文化や価値観に触れることができました。こうした経験は、学習面だけでなく精神的にも自分に大きな成長を促すきっかけになったと思います。また、私が所属した学部にはそれぞれ異なる国際交流の団体があり、学期初めのイベントや現地生とバディを組んで交流ができる機会を利用することで、より多くの人と出会い交流の幅を広げることができました。

留学生活は、予想通り全てがうまくいくとは限りません。例えば、日本では当たり前だったことができなかったり、文化の違いに戸惑うことも多々ありました。しかし、そのような困難も留学ならではの醍醐味であり、柔軟な考え方を育む良い機会だと肯定的に捉えながら生活することを心がけました。またそのような状況でも支えになってくれる友人の存在はとてもかけがえのないものとなりました。

留学を志す皆さんの留学生活が素敵なものになるよう、陰ながら応援しています。